

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ともだちの家スピカ		
○保護者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年1月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16 (家庭数)	(回答者数) 14
○従業者評価実施期間	2025年1月10日		～ 2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の理解	・ 体調・生活・機嫌等よく観察しパフォーマンスに つなげられるようにする ・ ひとりひとりの理解に努める	予測見立てをきちんと行い年齢や発達年齢に合 わせた療育内容を充実させます。 苦手・得意の把握と細分化を行います。
2	連絡帳を活用した 保護者様との情報共有	・ 個別で行った内容の記入 ・ 集団活動の内容、体調、機嫌等を含む保護者との 共有、写真の配信	集団活動だけの内容にとどまらず、その日伝えたい 一場面も伝えられたらと思います。 療育内容に沿った内容の記載をしております。
3	安全対策	安全第一の取り組みをしている。利用者同士のトラ ブルには介入を予測段階でおこなっている。	施設内の安全点検を強化するとともに、楽しく、 安全に通っていただけるよう努めます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	手厚い支援	法定以上の人員は配置しているが、個々の手厚い支 援が難しい場合もある。(法令の問題点でもある)	今まで以上に利用児童の理解をし、必要な時、必 要なことを見極め、関り、支援につなげていきま す。
2	職員の支援への力量の差	・ 研修の充実と見直し ・ 経験値での対応	経験の浅いスタッフの研修の充実をしております。
3	療育プログラム	利用児童の年齢幅あるため、安全で楽しめる内容を 考えて提供しているが、充分とはいえない	活動の内容は同じでも、ひとりひとりの課題や発 達に合わせた内容にするため、適切な声掛けや関 りをしながら工夫をしております。